



認知症ケアについて学びましょう！



当センターでは、認知症ケアの研修を基礎から応用まで実施します。
認知症について基礎から学びたい方、ケアの具体的な方法を知りたい方は、この機会に受講してみたい方がいます。ご参加お待ちしております。

認知症ケア基礎研修
「認知症の正しい理解と
介護の工夫」
(全4回)

認知症を正しく理解し、適切なケアにより本人本位のケアができる人材を育成します。基礎研修を通し、センター方式の5つの視点を学び、本人本位のケアのあり方について考えます。5月コースは5/19からスタートです。(2月にも同じ研修を行います。)

センター方式地域型基礎研修
(全2回)

認知症の人が自分らしく暮らしていくことを支えるために、本人本位の視点や関係者がチームを育てながら協働して支援していくための方法としてのセンター方式を実践的に学び、参加者同士のネットワーク作りをすすめます。6月27日と7月18日の2日間セットの研修です。

センター方式事例検討会
(全5回)

センター方式地域型基礎研修を受講済みの
方が対象です。(21年度でも可)

センター方式を日常的に活かしながら、認知症の人が自分らしく暮らしていくための関わりやケアを着実に実践していくためのスキルアップを図ります。本人本位のケアに向けて、事例から認知症ケアを深めます。9月より毎月1回開催します。

「センター方式」とは「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」です。
センター方式を使っていない事業所でも、ケアの視点の参考になります。

資格取得に挑戦しよう！

《介護福祉士》

受験資格

介護に携わった実務経験が3年以上あること。

3年以上とは、介護の業務に携わった期間が通算して、在職期間(休日も含む)が1,095日(3年)以上、実務期間540日以上(1日あたりの時間は不問)であること。

筆記試験 (例年1月下旬に実施)

出題範囲

社会福祉概論 老人福祉論 障害者福祉論 リハビリテーション論 社会福祉援助技術(演習含む)
レクリエーション活動援助法 老人・障害者の心理 家政学概論
医学一般 精神保健 介護概論 介護技術 形態別介護技術
上記の科目から120問出題。全てマークシート方式

実技試験 (例年3月上旬に実施)

筆記試験合格者のみ対象

筆記試験前に、専門機関による介護技術講習会を修了している人は免除



試験の詳細・受験資格のお問い合わせは
(財)社会福祉振興・試験センター
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷1-5-6 SEMPOSビル
(電話)03-3486-7521(試験室直通)
(ホームページ) <http://sssc.or.jp/>

研修・コースアップ



下記の研修は、5月10日から申し込みが開始されています。
システムを通じてお申し込みをお願いします。



6月26日 (土)

リスクマネジメント 1 訪問サービス編

山田滋氏 (インターリスク総研)

訪問サービスで発生しやすいリスクとその対応方法について事例を交えて学びます。

事故が起きる原因と環境に注目し、明日から取り組むことができる対応方法についてご紹介します。

自事業所の取り組みで足りない点の確認や、全職員で共通した認識の下、リスクマネジメント体制を構築するのにとても役立つ研修です。

6月25日 (金)

リーダー研修 2 コミュニケーション

野口幸一氏 (ホスピタリティ機構)

職場のコミュニケーションを円滑にする方法について学びます。

ホスピタリティとは。

違いを活かす工夫。

上司に求められること。

人の理解。

情報と感情。

聴く力。伝える力。

など様々なテーマを 1 日研修で習得できるカリキュラムになっています。



6月18日 (金)

ハラスメント問題の基礎知識 (講習会) (株式会社保健同人社)

昨今、ハラスメント問題が大きな話題となっています。言葉の意味を共有するとともにその対処方法をわかりやすく解説します。

研修のお申込開始日は、前の月の 10 日からです。

各研修は、研修日の前日まで、システムからお申込みいただくことができます。

研修のキャンセルはシステム上、3 日前までです。その後の変更はお電話でお願いします。

今月の「にやりほっと」



～ 役に立ちます！電話相談編 ～

先日久しぶりのテニスをしました。しかしテニスを終えると肘に痛みが。いわゆるテニス肘になってしまいました。

インターネットで調べてみると、テニス肘は保存療法が一番だとしか書かれていません。念のため病院へ行こうと調べてみると多数の病院がリストアップされていました。中には、「大した診断もせず雑な対応をされた」などの受診者のコメントが記載されたホームページまでありました。どこに受診すればいいのか迷った時、ふとひらめいたのが、『こことからだの健康相談』。

電話をかけて相談すると、スポーツリハビリの専門医がいる病院を紹介していただきました。でも内心は、どこの病院も同じで、レントゲンをとって、骨に異常がないことを確認したら、湿布をもらって「しばらく安静にしてくださいね。」と言われるだけだと思っていました。

診察が始まり、レントゲン撮影。それで先生と話して終わりかなと思った時、「リハビリをしましょう」と別室へ移動。痛みがある箇所には赤いレーザーを当てて 7 分。そのあとは、電磁波みたいなものを 10 分当てる予想外のリハビリが実施されました。

現在の整形外科技術が進歩しているのか、この病院がすごいのか。気のせいかもしれませんが、たった 15 分程度のリハビリで、少し痛みが取れたような気分になってしまいました。ただ保存療法になるだろうと思っていた私にとっては、『こことからだの健康相談』に相談してみても良かったなと思います。

現在はコツコツとリハビリに通っています。 (事務職員 A さんより)

「ひやりほっと」の反対の「にやりほっと」。近くで働くからわかる、にやりとしたり、ほっとするストーリーをぜひお寄せください。



バーンアウトしないために



メンタルヘルス相談受付時間

電話相談 平日 9:00～21:00

土日 10:00～18:00

健康相談は365日24時間対応!

カウンセリング相談 (予約制)

年間5回まで無料で受けられます。

全国155カ所で受けられます。

都内22カ所。光が丘でも受けられます。

メール相談 24時間対応

回答は、翌2営業日以内

この事業は、「保健同人社」に委託しています。
ご自身が望まない限り、ここでの相談内容が、
ご自分の勤務する職場に知られることはありません。



詳しい情報は...

この通信は
毎月15日
発行です。
この通信へのご意見を
ぜひお寄せください。

練馬介護人材育成・研修センターの情報は、
ホームページで確認することができます。
研修の情報など、随時更新しております。

<http://www.nerima-swf.jp/training/index.html>

こことからだの健康相談のサイトの入り口も
こちらにあります。

メールでのご意見・お問い合わせもお待ちしています。
kensyu-center@nerima-swf.jp

社会福祉法人 練馬区社会福祉事業団
練馬介護人材育成・研修センター

